

25年5月主要5港コンテナ統計 概要

- 5月の5港コンテナ貨物量 前年同月比増。また、2か月連続でコロナ前比水準を上回った。
- ・5港計の前年同月比は6か月連続増の4.3%。直近1年間は2.2%増。コロナ前(19年)比は3%増。
 - ・輸出実入の前年同月比は2か月連続増の2.0%、直近1年間比▼2.0%。コロナ前比は1%増。
 - ・輸入実入は9か月連続増の3.7%、直近1年間比5.0%増。コロナ前比▼1%。

○5月の各港

- ・輸出入の5港計の前年比増は、4.3%。神戸を除く4港が増加。19年比も神戸を除く4港が増。
- ・東京の計(7.0%増)は、14か月連続増。増の要因は実入で輸出輸入が増、また、空の輸出も増。
なお、輸出実入は2か月連続増、輸入実入は14か月連続増。
計の19年比12か月ぶりの増で10%増。
- ・横浜港の計は2か月連続増の1.6%。増の要因は空の増。一方、輸入実入が減。19年比3%増。
今後の輸出についてはトランプ関税措置の影響が注目される。
- ・神戸港の不振が目立つ。計は5か月連続減。ただし、5月減の要因は、空コン(輸出入とも)の減。

○空コンの動向

- ・23年10月から紅海での商船攻撃によりスエズ運河を迂回し喜望峰経由を余儀なくされている。航海日数の増加で空コンは過剰から、一時、不足に転じた。空コン輸入の増減幅は、実入と比較して大きい。
- ・5港の空コンの輸出は、5月は約23万TEUで前年同月比9%増、19年比は18%増で。大きな変動は無い。
- ・5港の空コンの輸入は23年10月～12月は月間約5万TEUと19年比で2倍と大幅増であったが、24年1月は約2万TEUと半減した。2、3月は5万TEU台に上昇したが、4月以降は、2万～3万TEU台。12月は約4万TEUでやや増加したが25年1月～2月は2万TEU台に、3～5月は3万TEU台で、近時、大変動は無い。
- ・神戸港に23年8月に当NPOから要望した航路別統計については、2022年報に公表され、月報には24年4月発表の1月報から掲載されている。

5月の主要5港コンテナ統計貨物量 ■は増加、▼は減少、◇横ばい

	前年同月比	当月を含む3カ月の傾向	24年6月～25年5月	コロナ前(19年5月)
5 港 計	4.3%■	6カ月連続増 ■ ■ ■	2.2%■	3%■
輸出	4.7%■	4カ月連続増 ■ ■ ■	1.9%■	7%■
実入	2.0%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	2.0%▼	1%■
空	9.1%■	12カ月連続増 ■ ■ ■	9.2%■	18%■
輸入	3.9%■	3カ月連続増 ■ ■ ■	2.6%■	1%▼
実入	3.7%■	9カ月連続増 ■ ■ ■	5.0%■	1%▼
空	7.3%■	4カ月ぶりの増 ▼ ▼ ■	27.6%▼	3%■
東京 計	7.0%■	14カ月連続増 ■ ■ ■	4.5%■	10%■
輸出	7.3%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	1.8%■	13%■
実入	2.2%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	8.4%▼	1%▼
空	10.8%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	10.8%■	25%■
輸入	6.8%■	14カ月連続増 ■ ■ ■	6.9%■	7%■
実入	7.6%■	14カ月連続増 ■ ■ ■	8.4%■	7%■
空	64.9%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	62.9%▼	17%■
横浜 計	1.6%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	0.4%■	3%■
輸出	4.6%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	2.3%■	13%■
実入	0.0%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	1.1%■	11%■
空	17.6%■	4カ月ぶりの増 ▼ ▼ ■	5.8%■	18%■
輸入	1.8%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	1.6%▼	6%▼
実入	2.7%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	4.2%■	4%▼
空	10.3%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	40.9%▼	25%▼
神戸 計	3.3%▼	5カ月連続減 ▼ ▼ ▼	1.3%▼	5%▼
輸出	4.6%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	0.7%■	3%▼
実入	1.5%■	4カ月連続増 ■ ■ ■	1.4%▼	3%▼
空	20.8%▼	3カ月連続減 ▼ ▼ ▼	8.8%■	0%■
輸入	1.8%▼	4カ月連続減 ▼ ▼ ▼	3.6%▼	8%▼
実入	0.6%■	3カ月ぶりの増 ▼ ▼ ■	1.0%▼	10%▼
空	24.9%▼	8カ月連続減 ▼ ▼ ▼	24.2%▼	21%■

出所：各港港湾統計を基に作成。ただし、2025年3月及び4月の大阪港は速々報値。

(注) 神戸港の輸出空コン 21年8月から増、23年5月まで22か月連続増。

5月の東京港の航路別の入港隻数

○5月の東京港の航路別の入港隻数

増は、[北米+欧州]航路。東南アジア航路と韓国航路は横ばい。中国航路は、前年同月比は減だが、前年と前々年平均よりは増。

- ・ [北米+欧州]航路は39隻、前年同月33隻より6隻増。直近1年間34隻より5隻増、前前年1年間平均36隻より3隻増。
- ・ 東南アジア航路は141隻、前年同月141隻と同数。直近1年間平均142隻より▼1隻、前前年1年間平均149隻より▼8隻。
- ・ 韓国航路の隻数43隻で前年同月43隻と同数。直近1年間平均45隻より▼2隻、前前年1年間平均43隻と同数。
- ・ 中国航路の隻数は165隻で前年同月169隻より▼4隻。直近1年間平均154隻より11隻増、前々1年間平均162隻より3隻増。

航路	A 5月隻数	B 前年 5月隻数	C=A/B 隻数増減(%)	D=24年6月～ 25年5月の計/12	A/D 隻数増減(%)	E=23年6月～ 24年5月の計/12	A/E 隻数増減(%)	D/E 移動平均 隻数増減(%)
北米+欧州	39	33	18.2%	34	13.9%	36	7.1%	▲5.9%
東南アジア	141	141	◇	142	▲0.5%	149	▲5.4%	▲4.9%
韓国	43	43	◇	45	▲3.6%	43	1.2%	4.9%
中国	165	169	▲2.4%	154	7.4%	162	1.7%	▲5.2%